

人のぬくもりと
ふれあいが奏でる躍動のまち
丹波高原文化の郷 ● 京丹波

広報 京丹波

KYOTAMBA

NO.84
10月号

2012年10月15日発行

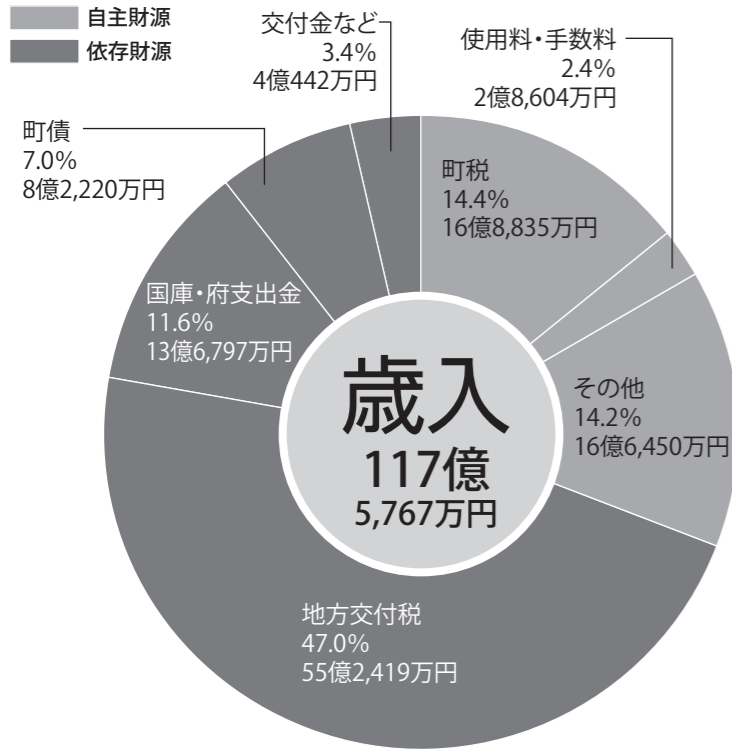
秋空のもと
若い力が競い合う



特集

決算

一般会計歳入



は国・府支出金(負担・補助・委託金や町債(借入金)、地方交付税などに頼っている状況です。

自主財源の柱である町税は、収入額が十六億八、八三五万円で、年度内に収入できなかつた額が二億八、〇六六万円、不納欠損額が一、〇五一万円。京都地方税機構による滞納整理業務により一定の効果は表れていますが、今後も地道な督促や納税相談、夜間納付窓口の開設などにより、税負担の公平性と自主財源の確保に向けて滞納への厳正な対応に努めるとともに、法令に基づいた適正な処理を行います。

一方、財源の中で最も多くを占める地方交付税は、普通交付税の算定基礎となる人口が平成十七年国勢調査から平成二十二年に変更となったことにより、特別交付税と併せて前年度に比べ六、二〇九万円の減。国・府支出金も十一億七、四三三万円の減となりました。

国や府への依存率が高い本町にとつては、さらなる歳入の確保は厳しさを増すことが予想されますが、今後より一層、財政基盤の強化に向けた取り組みを着実に進めていきます。

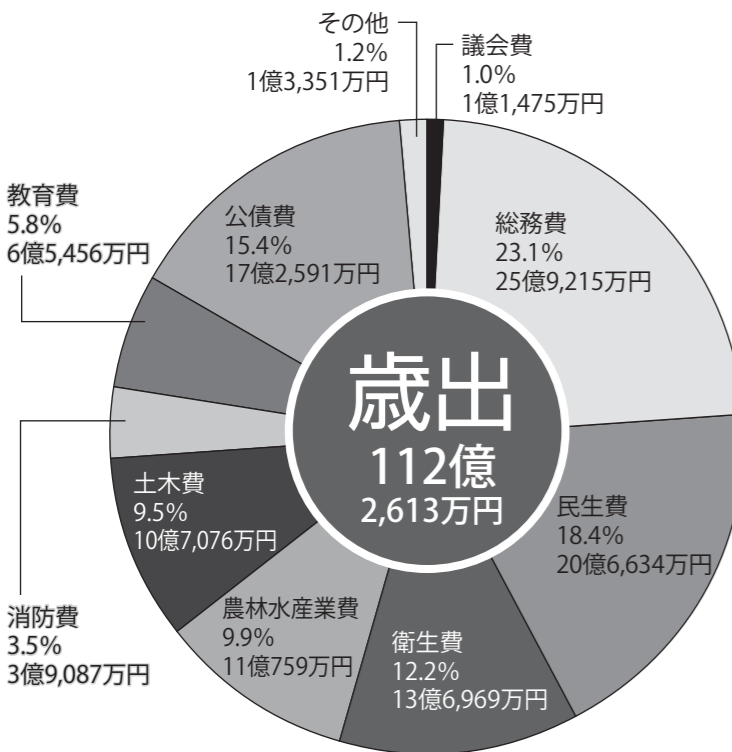
歳入

歳入には、町税など町が自らの力で調達できるお金(自主財源)と、国や府から交付されたり、割り当てられたりするお金(依存財源)があります。グラフのとおり、自主財源は歳入全体の三一・〇%で、残り六九・〇%

【特集】
平成23年度

決算

一般会計歳出[目的別]



に比べ三・三ポイント増加したものの、地方財政健全化法に基づく指標は、実質公債費比率が一五・三%、将来負担比率が一四三・七%で、いずれも前年度より着実に改善が図れました。(詳細は8ページ参照)

このほか、町債残高は一四四億一、三二五万円で、前年度末残高から六億九、二二二万円の減。基金(貯金)残高は四十三億六四〇万円で、前年度末残高から六億七、九七二万円の増となりました。将来の負担軽減を図るため、財政健全化に向けて積極的に取り組んでいきます。

二十三年度歳出の主なもの、財政調整基金をはじめとした基金積立(十億八、〇九八万円)、住宅用太陽光発電システム設置補助金(三八一万円)、こども手当給付費(二億三、三三八万円)、中山間地域等直接支払交付金(一億二、四六九万円)、有害鳥獣被害に対する防除施設設置事業など(七、九九九万円)国民文化祭事業(七一〇万円)、町観光協会の運営補助を含めた観光振興事業(四八九万円)などで、費目別には次ページのとおり支出しました。

歳出

歳出総額は二二億二、六二二万円で、歳入から歳出と平成二十四年度へ繰り越した事業費(六、四八二万円)を差し引いた実質収支額は、四億六、六七二万円の黒字となりました。また、経常収支比率は八一・八%で、前年度

監査委員の決算審査を経て、九月の議会定例会で平成二十三年年度一般会計と特別会計の決算が認定されました。歳出決算額は、一般会計が二二億二、六二二万円(二万円未満四捨五入、以下同じ)、特別会計が七十九億五、四四九万円(財産区会計除く、以下同じ)になりました。

用語解説

【経常収支比率】財政構造の弾力性を示す指標。人件費や公債費など毎年度経常的に支出する経費に対して、町税や地方交付税など毎年度経常的に収入できる一般財源がどの程度使われたかを表す比率。

【実質公債費比率】公債費(借入金)による財政負担の程度を示すもので、起債制限比率に反映されていない公営企業の公債費への一般会計繰出金などの公債費類似経費を算入した比率。

No.84 CONTENTS

- 2 【特集】 決算
- 9 Dr's Message いきいき健康術
- 10 秋の丹波路を駆け抜ける「2012京都丹波ロードレース」を開催します
- 11 京丹波にはおいしいもんがいっぱい! 「京丹波 食の祭典2012」開催
- 12 京丹波町職員の給与の状況を公表します
- 14 **FLASH** KYOTAMBA TOWN NEWS 2012
 - 真っ赤なリングを収穫
 - 子育て支援センターリング狩り
 - 踊りを通して交流
 - 丹波音頭・踊りフェスティバル
 - アジアの文化に親しむ
 - 町女性の会男女共同参画国際交流事業
 - 救命処置の方法学ぶ
 - 命を救う応急手当講習会
 - 医療体制の充実などを報告
 - 医療等審議会
 - 車いすで疾走
 - 全京都車いす駅伝競走大会・全京都車いすミニ駅伝競走大会
 - 恒例の体育イベント開催
 - 町内小中学校体育祭・運動会
 - 緑あふれる公園で野外活動
 - スポーツ少年団交流事業

一般会計
【主なもの】

こう使った112億円

労働費 1,793万円

緊急雇用創出事業委託料……………850万円
その他労働対策に関する経費……………943万円

農林水産業費 11億759万円

農業委員会運営に関する経費……………783万円
農業総務費(職員給与など)……………8,097万円
マスターズハウス管理運営委託料……………300万円
京都・丹波食彩の工房管理運営委託料……………940万円
瑞穂町農業公社・丹波ふるさと振興公社運営補助金
……………1,750万円
有害鳥獣対策事業……………7,999万円
(捕獲委託、被害防止施設設置など)
農業機械導入補助金……………730万円
中山間地域等直接支払交付金……………1億1,469万円
水田農業構造改革対策助成事業……………1,839万円
(特産物作付奨励、国産飼料推進)
農地・水・環境保全向上対策事業負担金……………991万円
京の米産地づくり事業補助金……………268万円
京の黒大豆・小豆等産地づくり事業補助金……………225万円
命の里事業(農業生産基盤整備、里力再生)……………401万円
その他農業振興に関する経費……………3,587万円
(農業後継者育成事業補助など)
畜産業に関する経費……………1,468万円
(堆肥による土づくり事業補助など)
下水道事業特別会計への繰出金……………1億9,651万円
(農業集落排水)
その他農地保全などに関する経費……………3,154万円
(土地改良区運営補助など)
山村開発センターの管理……………778万円
農村情報施設管理費(職員給与など含む)……………3億60万円
山村振興対策に関する経費……………74万円
ケーブルテレビ拡張整備に関する経費……………3,020万円
林業総務費(職員給与や林業振興会負担金など)……………2,227万円
公有林整備事業委託料……………1,541万円
緑の公共事業補助金(間伐約17haなど)……………368万円
林道峰線開設工事(和知地区広瀬)……………2,048万円
森林整備地域活動支援交付金……………1,644万円
その他林業振興に関する経費……………4,819万円
(林道維持管理、緑の担い手育成など)
わち林業センターの運営費……………296万円
内水面漁業振興対策事業補助金……………230万円
(和知・由良川漁協への補助)



平成23年度決算の審査意見書を寺尾町長に提出する船越監査委員(役場町長室・蒲生)

衛生費 13億6,969万円

保健衛生総務費(職員給与など)……………1億733万円
検査検診委託料……………5,097万円
予防接種業務委託料……………3,819万円
食生活改善推進事業委託料……………65万円
特定保健指導・特定健診委託料……………1,153万円
その他保健・予防に関する経費……………1,452万円
(妊婦健診助成など)
合併浄化槽設置補助金……………664万円
住宅用太陽光発電システム設置補助金……………381万円
下水道事業特別会計への繰出金……………4,932万円
(浄化槽市町村整備推進)
その他環境衛生に関する経費……………250万円
(狂犬病予防注射や水質検査委託など)
南丹病院負担金……………2,057万円
京丹波町病院会計運営補助……………3億8,700万円
(出資金・利子含む)
その他診療所に関する経費……………1,166万円
(事務費、直診勘定整理経費など)
保健センターの管理……………1,493万円
船井郡衛生管理組合分担金……………2億6,579万円
ごみ処理手数料……………3,755万円
生ごみたい肥化容器購入助成金……………23万円
その他ごみ処理対策に関する経費……………272万円
(資源ごみ集団収集助成など)
水道事業特別会計への繰出金……………3億4,378万円

戸籍住民基本台帳管理に関する経費……………2,797万円
(職員給与など含む)
京都府議会議員選挙に関する経費……………832万円
その他選挙に関する経費……………63万円
各種統計調査(国勢調査など)に関する経費……………74万円
監査委員に関する経費……………58万円

民生費 20億6,634万円

社会福祉総務費……………2億7,312万円
(職員給与や在宅介護支援センター運営、民生児童委員の活動補助など)
国民健康保険特別会計への繰出金……………8,939万円
(事業勘定分)
和知高齢者コミュニティセンター管理運営委託料など
……………70万円
共同作業所運営委託料……………1,593万円
重度心身障害者通院通所支援事業委託料……………653万円
重度心身障害者老人健康管理事業給付費……………2,841万円
心身障害者医療給付費……………4,964万円
自立支援医療給付扶助費……………1,352万円
障害者自立支援給付費……………2億6,855万円
その他障害福祉に関する経費……………5,201万円
(日常生活用具の給付など)
外出支援・食の自立支援事業委託料……………2,477万円
シルバー人材センター運営補助金……………630万円
老人クラブ連合会活動補助金……………401万円
後期高齢者医療に関する負担金・繰出金……………2億4,317万円
老人医療給付費……………3,126万円
老人ホーム措置費……………510万円
地域包括ケアシステム実証実験業務委託料……………309万円
介護施設等整備補助金……………3,890万円
介護保険特別会計への繰出金……………2億7,393万円
その他老人福祉に関する経費(長寿者報償など)……………1,852万円
国民年金事務に関する経費……………68万円
すこやか祝金……………795万円
京都子育て医療・すこやか子育て医療給付費……………3,230万円
子ども手当給付費……………2億3,338万円
その他児童福祉に関する経費……………1,616万円
(チャイルドシート購入助成など)
母子父子福祉に関する経費……………1,060万円
(母子医療給付費など)
保育所の運営管理(職員給与など含む)……………3億1,794万円
東日本大震災被災地支援に関する経費……………49万円

議会費 1億1,475万円

議会運営に関する経費……………1億1,475万円
(議員報酬や職員給与など含む)

総務費 25億9,215万円

一般管理に関する経費……………4億6,337万円
(職員給与や区長会の運営補助、土地開発公社など各機関への負担金など)
広報京丹波(お知らせ版含む)の発行……………331万円
町勢要覧(本編、資料編)の作成……………158万円
例規集サポートシステム委託料……………366万円
地域主権改革推進支援業務委託料……………121万円
その他文書広報に関する経費……………66万円
財政管理・会計管理に関する経費……………136万円
財産管理に関する経費……………15億8,176万円
(町有財産管理、基金積立金など)
わちふるさと祭り助成金……………100万円
京都丹波ロードレース運営補助金……………80万円
山陰本線複線化促進協議会など各機関への負担金
……………21万円
その他総合企画に関する経費……………362万円
町有財産解体工事(町保有建物1棟)……………225万円
支所の管理に関する経費……………1億9,760万円
(職員給与など含む)
公平委員会に関する経費……………3万円
グリーンランドみずほ管理運営委託料……………2,200万円
グリーンランドみずほ施設等改修工事……………158万円
(人工芝ホッケー場修繕)
グリーンランドみずほ施設備品(ホッケー備品)……………177万円
和知駅振興事業補助金……………118万円
街灯設置補助金・防犯協会負担金など……………312万円
交通対策費……………186万円
(交通指導員運営経費、交通安全協会運営補助など)
町営バス利用促進補助金……………38万円
町営バス運行事業会計への繰出金……………7,610万円
自治振興補助金……………1,633万円
住民自治組織まちづくり交付金・地域力向上事業助成金など
……………178万円
行政情報システムの管理など……………4,964万円
国際交流協会への補助金……………300万円
生涯学習推進に関する経費……………325万円
(人権政策の推進など)
税務に関する経費(職員給与など含む)……………1億949万円

■会計別歳出決算額

会計名	本年度
一般会計	112億2,613万円
特別会計・企業会計	79億5,449万円
国民健康保険事業(事業勘定)	18億2,863万円
後期高齢者医療	1億8,785万円
介護保険事業(事業勘定)	18億7,586万円
介護保険事業(サービス事業勘定)	681万円
介護保険事業(老健施設サービス勘定)	1億 834万円
水道事業	14億8,835万円
下水道事業	10億3,613万円
土地取得	1億2,920万円
育英資金給付事業	228万円
町営バス運行事業	1億 881万円
国保京丹波町病院事業	11億8,223万円

特別会計決算の概要

国民健康保険事業

事業勘定分の歳入は十八億三、四七二万円で、そのうち国民健康保険税収入が四億八〇〇万円(二二・二%)。歳出は十八億二、八六三万円で、主なものには保険給付費十二億五、〇四三万円、後期高齢者支援金二億一、七九九万円、人間ドック助成や特定健康診査

などの保健事業費三、五九七万円となりました。

後期高齢者医療

歳入は一億八、九三〇万円で、そのうち保険料収入が一億二、九八七万円(六八・六%)。歳出は一億八、七八五万円で、後期高齢者医療広域連合への納付金一億八、四二九万円が全体の九八・%を占めました。

介護保険事業

事業勘定の歳入は十八億八、五九五万円で、そのうち保険料収入が二億六、〇一四万円(二三・八%)。歳出は十八億七、五八六万円で、保険給付費が十七億九、七八六万円でした。サービス事業勘定の歳入は六九六万円で、歳出は六八一万円。歳出の主なものには、介護予防サービス計画作成委託料五三六万円となりました。老健施設サービス勘定の歳入は一億九八三万円で、歳出は一億八三四

水道事業

歳入は十五億一、五五八万円で、そのうち水道使用料が四億九、五五七万円(三二・七%)。歳出は十四億八、八三三万円で、丹波・瑞穂地区統合簡易水道整備事業が四億七、九九四万円、和知地区統合簡易水道整備事業が二、五八九万円でした。

下水道事業

歳入は十億五、九四七万円で、歳出は十億三、六一三万円。歳出の主なものには、農業集落排水費が二億一、六五五万円、公共下水道費が一億四、三三三万円、浄化槽市町村整備推進施設費が九、七一六万円でした。

土地取得

歳入歳出共に一億二、九二〇万円で、一般会計からの繰入金金を土地購入費として支出しました。

育英資金給付事業

歳入歳出共に二二八万円。歳出の主なものには、大学生八人に二四四万円、専門高校生二人に十八万円、高校生六人に六〇万円の奨学金を支出しました。

町営バス運行事業

歳入は一億九、一四万円で、そのうち運賃収入などの事業収入は三、二三〇万円(一九・六%)。歳出は一億八、一四万円で、運行事業費に二億四、九七万円を支出しました。

国保京丹波町病院

収益的収支(消費税抜き)は、収入額が十一億四、〇一八万円、支出額が十一億八、二二三万円で、収支差引四、二〇五万円の損失。このうち、旧瑞穂病院の解体経費および売却収入を除いた経常収支は三、九五五万円の利益となりました。医療収益は八億三、三五六万円となり、医療費用としての支出は十億三、四七二万円でした。

平成二十三年度の入院患者数は一万三、一八二人、外来患者数は京丹波町病院三万四、〇六三人、和知診療所一万三、二四一人、和知歯科診療所六、六八二人でした(いずれも延べ人数)。



平成23年度決算について審議する議会の決算特別委員会(役場議場・蒲生)

教育費

6億5,456万円

教育総務費(職員給与や教育委員報酬など) 一億6,583万円
 育英資金給付事業特別会計への繰出金 111万円
 小学校の管理に関する経費 9,119万円(職員給与など含む)
 小学校の教育振興に関する経費 4,569万円(教材、通学バス補助金など)
 中学校の管理に関する経費 5,534万円(職員給与など含む)
 中学校の教育振興に関する経費 5,086万円(外国語指導助手報酬、教材、通学バス補助金など)
 幼稚園の管理運営に関する経費 5,999万円(職員給与など含む)
 婦人会活動推進補助金 100万円
 町文化協会活動推進補助金 20万円
 伝統芸能等保存活動補助金 23万円
 青少年育成協会への補助金 50万円
 人権啓発推進協議会への補助金 100万円
 国民文化祭実行委員会への負担金 437万円
 その他社会教育総務に関する経費 858万円(社会教育委員報酬など)
 公民館活動に関する経費 4,410万円
 文化財保護に関する経費 364万円
 体育協会への補助金 400万円
 その他社会体育に関する経費 244万円(体育指導委員報酬など)
 体育施設の維持管理に関する経費 1,317万円
 学校給食費(職員給与など含む) 1億1,323万円

※1万円未満を四捨五入しているため、合計金額が合わない場合があります。

商工費

8,435万円

商工総務費(職員給与など) 715万円
 商工会小規模事業経営支援事業補助金 1,883万円
 商工会プレミアム商品券発行事業補助金 79万円
 その他商工振興に関する経費 700万円(消費生活グループ活動補助など)
 道の駅「和」・山野草の森・アグリパークわちなどの管理委託料 2,933万円
 質志鐘乳洞公園管理委託料 835万円
 観光協会運営補助金 455万円
 その他観光振興に関する経費 836万円(京都府観光連盟など各機関への負担金など)

土木費

10億7,076万円

土木総務費 9,771万円(職員給与や各建設促進同盟会への負担金など)
 道路台帳整備委託料 189万円
 道路の維持管理に関する経費 5,197万円(道路修繕、交通安全施設整備、除雪作業など)
 道路改良工事 3億5,378万円
 その他道路改良に関する経費 1億69万円(測量設計監理など)
 河川総務費 2,909万円(河川維持管理業務委託、河川修繕工事など)
 河川改良工事(大倉谷川) 2,453万円
 町道町田線木橋町田橋改築事業負担金 76万円
 畑川ダム整備関連事業に関する経費 1億35万円
 都市計画・都市公園整備(須知)に関する経費 5,569万円
 下水道事業特別会計への繰出金 2億3,288万円(公共下水道)
 住宅改修補助金 718万円
 住宅管理に関する経費 1,425万円(職員給与や設備保守点検管理など)

消防費

3億9,087万円

京都中部広域消防組合負担金 2億3,916万円
 消防団の運営、消防施設の維持管理に関する経費 9,580万円
 消火栓設置(3ヶ所) 122万円
 消防自動車購入費(小型ポンプ付積載車6台) 4,457万円
 その他消防施設などの改修に関する経費 296万円
 防災・災害対策に関する経費 717万円(防災無線電波負担金など)

二十三年度決算に基づく 健全化判断比率などの状況

地方財政健全化法では、「健全化判断比率」による四つの財政指標と、「資金不足比率」により、地方公共団体の財政状況を判断します。二十三年度決算に基づく各比率は次のとおりで、これまでの財政健全化対策の効果が表れて全体的に改善傾向にあります。(各指標に算定される会計は「表1」参照)

実質赤字比率

一般会計などの赤字額が標準財政規模に占める割合。本町は収支赤字がないので該当なし。

連結実質赤字比率

全会計(財産区会計除く)の赤字額が標準財政規模に占める割合。本町は収支赤字がないので該当なし。

実質公債費比率

一般会計などが負担する公債費(借入金)が標準財政規模に占める割合。算定結果は一五・三%で、昨年度より一・七ポイント改善しました。

将来負担比率

一般会計などが将来負担すべき実質的な債務が標準財政規模に占める割合。算定結果は一四三・七%で、昨年度より一一・一ポイント改善しました。

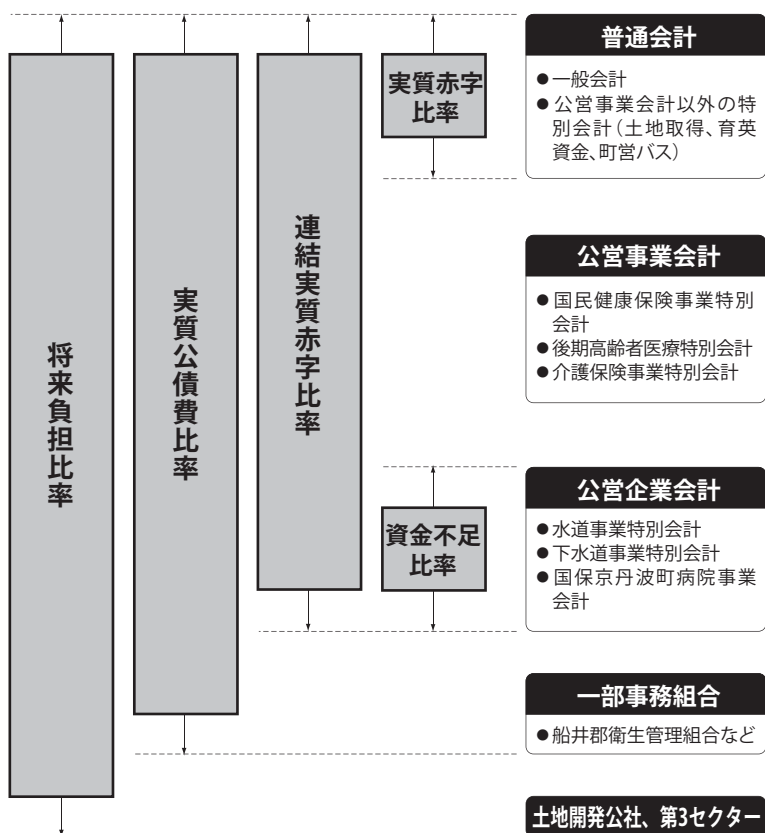
資金不足比率

資金不足額が公営企業の行う事業規模に占める割合。本町では、国保京丹波町病院・水道・下水道事業の三会計が対象となりますが、各会計で資金不足額がないので該当なし。

用語解説

【標準財政規模】町が一年間に自由に使える財源(お金の)の標準的な規模。本町は二十三年度決算で七十三億七、二八二万円でした。
【早期健全化基準】基準値を一つでも超える、自主的な改善努力を行うための早期健全化計画策定や外部監査が義務付けられます。
【財政再生基準】基準値を一つでも超える、国などが関与して再生が行われるため、町独自施策の展開ができなくなるとともに、財政再生計画策定や外部監査が義務付けられます。

4つの財政指標の対象となる会計の範囲 [表1]



京丹波町の比率算定結果

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
算定結果	—	—	15.3	143.7
参考 23年度	—	—	17.0	154.8
参考 22年度	—	—	18.8	182.8
早期健全化基準	13.93	18.93	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	—

※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」と表示しています。

	病院事業	水道事業	下水道事業
算定結果	—	—	—
経営健全化基準	20.00		

※資金不足額がないため、資金不足比率は「—」と表示しています。

『オシッコを面倒くさがるとオシッコが近くなる。』

このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職員が皆さんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は和知診療所副所長の仲村司先生。生活習慣に関連した膀胱炎や頻尿などのお話です。

夏 が過ぎ、涼しい季節となりました。これから寒くなってくるとトイレがおっくうになってきて、水分摂取を控えるようになる方もおられるようですが、オシッコを面倒くさがって水分摂取を控えると、かえってオシッコが近くなることをご存知でしょうか。

そもそもオシッコは、腎臓で作られたときは無菌状態ですが、時間がたつとその中で細菌が繁殖して、臭いが出てきます。これは膀胱内でも起こるため、オシッコの量が少ないと長時間膀胱内に留まることになり、オシッコに細菌が繁殖し、その細菌が膀胱の壁に炎症を起こします(膀胱炎)。こうなると膀胱の壁が敏感になって、少しオシッコがたまるとすぐにオシッコがしたくなる状態となってしまいます(頻尿)。ですから、オシッコはあまりためずに新鮮なうちにたくさん出すことが結果的にオシッコの回数を増やさないこととなるのです。

以上のことから、オシッコをしっかり出すために水分を十分取ることが重要です。ただし、心臓病や腎臓病などで水分制限を必要とする方については、主治医の



副所長 仲村 司先生 (和知診療所)

指示に従ってください。最後に、これから冬が近づき徐々に寒くなってきましたが、水分はしっかりとって元気に過ごしていきましょう。

和知診療所情報

和知診療所では、訪問診療を水曜日の午後に行っています。また訪問看護につきましても随時行っていますのでご相談ください。

☎ 84-11112

D r ' s M e s s a g e

いきいき健康術 第62回

京丹波 食の祭典 2012 開催

京丹波には
おいしいもんが
いっぱい!



丹波ブランドに代表されるように、京丹波の「食」は、全国にアピールできる魅力のある資源です。国民文化祭のおもてなし事業として開催した昨年度は、約2,000人が来場され、よりすぐりの京丹波産品を販売する約20店では、売り切れ続出という予想を上回る賑わいのうちに終了することができました。今年度は、昨年度を大きく上回る出店を予定し、丹波自然運動公園と須知高等学校を会場として盛大に開催いたします。

【日時】 11月18日(日) 午前10時～午後3時
※須知高等学校会場は午前10時30分～午後2時30分

会場と主な内容

丹波自然運動公園

注目! 京丹波屋台グランプリ

京丹波オリジナルの食を生み出すイベントとして屋台グランプリを実施。商品を買われた方と審査員による投票の結果、グランプリに輝いた店舗にはなんと20万円の賞金を授与。京丹波の創作料理が皆さんの心と胃袋を癒してくれます。

注目! 味夢くんコーナー

スタンプラリー、ぬり絵コーナー、ふうせんのプレゼントなどを開催。当日は味夢くんはもちろん、京都府からまゆまろくん、南丹市からさくらちゃん、亀岡市からかめまるくんも駆けつけます。

味夢
ストラップ
11月18日
販売開始!

芸能文化の祭典

太鼓の出演、地元関係者による音楽演奏など

京丹波の飲食店の出店

食の企業啓発コーナー

須知高等学校

注目! 全国農業高校生産物販売と 須知高校農場野菜収穫販売

全国の農業高校に出店を呼びかけ、祭典当日は各地の高校の生徒たちが生産した加工品を販売。また、須知高校の農場では、白菜、大根、カブなどの野菜を多数作付けしており、当日は野菜の収穫と販売も行われます。

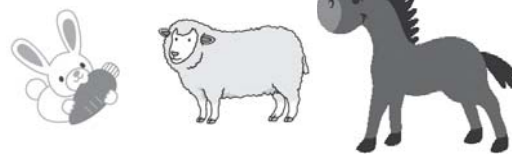
石窯ピザ販売



農場、加工施設見学

動物ふれあいコーナー

ポニー、ウサギ、羊、犬など



交通手段

車でお越しいただくか、食の祭典用無料シャトルバスをご利用ください。

- 無料シャトルバスの運行につきましては、別途お知らせいたします。
 - 自然公園と須知高校とを巡回する巡回バス(無料)も運行します。味夢ラッピングバスにより運行する予定です。是非、ご利用ください。
- 駐車場 丹波自然運動公園:約300台/須知高等学校:約100台



秋の丹波路を駆け抜ける

「2012京都丹波ロードレース」 を開催します

京丹波町の秋の一大イベントとして毎年開催している「京都丹波ロードレース」。大会当日には約4,100人のランナーが集い、鮮やかに紅葉した景色を眺めながら丹波路を駆け抜けますので、コース沿いからのあたたかい声援などにご協力いただきますようお願いいたします。

また、発着点である丹波自然運動公園では、来園される皆さんに京丹波の秋を存分に楽しんでいただけるよう「うまいもの市」や「菊花展」などを開催します。ご家族や友人などお誘い合わせで来園いただき、深まりゆく秋のひとときをお過ごしください。

●日時 11月3日(祝・土) ※雨天決行

選手受付:午前8時30分～10時

開始式:午前10時～

スタート:<3km>午前10時20分 / <5km>午前10時40分
<10km>午前10時50分 / <ハーフ>午前11時

●発着点 丹波自然運動公園

●主催 京丹波町、南丹市陸上競技協会、京丹波町体育協会、
京都府立丹波自然運動公園



うまいもの市、菊花展

恒例の「うまいもの市」では、地元で採れた農産物や特産品をはじめ、食の宝庫「京丹波」を満喫できる、旬の食材をふんだんに使った料理などを販売。「菊花展」は10月20日(土)～11月11日(日)まで開催し、菊愛好家が丹精込めて育てたさまざまな種類の菊を展示します。

- 開催時間:午前9時～午後3時
- 開催場所:丹波自然運動公園中央広場



京丹波町職員の 給与の状況を 公表します

京丹波町職員の給与は、「京丹波町職員の給与に関する条例」など、関係諸規定の定めるところにより支給されています。本年度における職員の給与などの状況について、広く町民の皆さんに知っていただくため、そのあらましをお知らせします。なお、ここに公表する職員の給与は、いわゆる「手取り額」ではなく、すべて税金や社会保険料などを差し引く前の額です。

【第5表】職員の平均給料月額・平均年齢・平均経年数(各年4月1日現在)

区分	一般行政職			技能労務職		
	平均給料月額	平均年齢	平均経年数	平均給料月額	平均年齢	平均経年数
平成24年度	296,500円	41歳 6月	20年 1月	274,400円	52歳 9月	26年 9月
平成23年度	297,600円	41歳 8月	20年 6月	269,000円	51歳 8月	25年 8月

【第6表】職員の初任給の状況(一般行政職:平成24年4月1日現在)

一般行政職の初任給および採用2年経過日の給料月額、第6表のとおりです。

区分	初任給			採用2年経過日の給料月額		
	大学卒	短大卒	高校卒	大学卒	短大卒	高校卒
京丹波町	172,200円	152,800円	140,100円	184,200円	164,300円	148,500円
国	172,200円	152,800円	140,100円	184,200円	164,300円	148,500円

【第7表】職員手当の状況(平成24年4月1日現在)

区分		京丹波町	国
扶養手当	配偶者	13,000円	本町と同じ
	配偶者以外の扶養親族1人につき	6,500円	
	職員に配偶者がいない場合はそのうち1人について	11,000円	
	16歳から22歳までの子の加算(1人につき)	5,000円加算	
住居手当	借家	家賃額に応じて27,000円が支給限度	本町と同じ
通勤手当	交通機関利用者	運賃など相当額(50,000円が支給限度)	本町と同じ
	交通用具利用者	片道2km以上で5kmごとに定める額(60km以上24,500円が支給限度)	本町と同じ

期末勤続手当(平成24年度)

区分	京丹波町の支給率			国の支給率		
	期末手当	勤続手当	計	期末手当	勤続手当	計
6月期	一般職	1.225月分	0.675月分	1.9月分	本町と同じ	
	管理職	1.025月分	0.875月分			
12月期	一般職	1.375月分	0.675月分			2.05月分
	管理職	1.175月分	0.875月分			
計	一般職	2.6月分	1.35月分	3.95月分		
	管理職	2.2月分	1.75月分			

注)職制上の段階・職務の級などによる加算措置があります。

退職手当

区分	京丹波町		国	
勤続	自己都合	勤奨・定年	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	本町と同じ	
勤続25年	33.50月分	41.34月分		
勤続35年	47.50月分	59.28月分		
最高限度額	59.28月分	59.28月分		
その他の加算	定年前早期退職特別措置(2~20%加算)			

注)京丹波町は、京都府内のほとんどの市町村が加入している「京都市町村職員退職手当組合」の条例に基づいています。

【第9表】給与などの削減措置などの状況

現在の厳しい財政状況を考慮し、臨時、緊急の措置として次のとおり削減措置などを講じています。

職員区分	措置内容	施行期日
町長 副町長 教育長	給料・期末手当 10%減額	平成18~ 24年度
特別職 議会議員	・議員が町の附属機関の委員などに就任した場合に受ける報酬の廃止 ・本会議および委員会出席における費用弁償の廃止	平成20年 7月から
一般職 管理職	管理職手当 10%減額	平成19~ 24年度
特別職・ 一般職 全職員	・旅費支給基準の見直し ・府内出張の日当廃止 ・借上車賃単価の見直し	平成19年度 から

注)時間外勤務手当の抑制のため、「ノー残業デー」の導入や、休日出勤代休制度の見直しを図っています。

【第8表】特別職の報酬などの状況(平成24年度)

区分	給料月額・支給率		
給料	町長	10%減額後 675,000円 減額前 (750,000円)	
	副町長	10%減額後 558,000円 減額前 (620,000円)	
	教育長	10%減額後 504,000円 減額前 (560,000円)	
報酬	議長	300,000円	
	副議長	230,000円	
	議員	210,000円	
期末手当	町長・副町長・ 教育長	6月期	1.4月分(10%減額支給)
		12月期	1.5月分(10%減額支給)
		計	2.9月分(10%減額支給)
	議長・副議長・ 議員	6月期	1.4月分
		12月期	1.5月分
計	2.9月分		

1 人件費の状況

平成23年度決算(普通会計)における人件費および人件費率は次のとおりです。なお、この人件費には、特別職に支給された給与および報酬を含みます。

【第1表】人件費の状況(平成23年度:普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)%
平成23年度	16,208人 (平成24年3月31日現在)	112億6,246万6千円	4億6,705万7千円	17億8,125万8千円	15.82%

注)①普通会計とは、一般会計・町営バス特別会計・土地取得特別会計・育英資金給付事業特別会計の合計を指します。

②実質収支とは、歳入歳出差引額から、翌年度に繰り越された事業に充当すべき財源を除いた決算額をいいます。

2 職員給与費の状況

平成24年度当初予算(普通会計)に計上された一般職員の給与費および一人当たりの給与費は第2表のとおりです。

【第2表】職員給与の状況(平成24年度:普通会計当初予算・一般職員給のみ)

区分	職員数(A)	給料	職員手当(期末・勤続手当を含む)	合計(B)	一人当たりの給与費(B/A)
平成24年度	208人	7億2,302万4千円	3億5,796万8千円	10億8,099万2千円	519万7千円

【第3表】部門別職員数の推移

区分	職員数(人)	平成23年度	平成24年度	増減
		議 会	3	3
一般行政 (福祉関係を 除く)	総 務	54	53	△1
	税 務	14	13	△1
	農林水産	17	16	△1
	商 工	2	3	1
	土 木	15	16	1
	小 計	105	104	△1
福祉関係	民 生	50	50	0
	衛 生	19	19	0
	小 計	69	69	0
一般行政計	174	173	△1	
特別行政	教 育	30	29	△1
	小 計	30	29	△1
公営企業 など	病 院	48	53	5
	水 道	9	8	△1
	下 水 道	5	5	0
	そ の 他	18	15	△3
小 計	80	81	1	
総 合 計	284	283	△1	

(平成24年度地方公共団体定員管理調査より抜粋)

注)職員数は、一般職に属する職員と常勤の教育長をあわせたものです。(地方公務員の身分のある休職者や派遣職員も含みます)

【第4表】級別職員数の状況

(平成24年4月1日現在・行政職給料表の適用を受ける職員)

一般行政職などの給料月額は、6の級で構成される行政職給料表を適用することにより支給されています。それぞれの級の標準的な職務内容、職員数および構成比は第4表のとおりです。

(医師、医療技術員、看護師などは、医療職給料表(一)(二)(三)を適用しています)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事補・技師補・主事・技師	30人	13.16%
2級	主事・技師	10人	4.39%
3級	主査・係長・主任	126人	55.26%
4級	課長補佐・主幹	38人	16.67%
5級	課長・会計管理者	20人	8.77%
6級	参事・総括課長	4人	1.75%
合 計		228人	100%

注)①職員数は、「行政職給料表」の適用を受ける職員で、給与条例に基づく給料表の級区分によるものです。

②標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する標準的な職務です。

真 つ赤なりんごを収穫

■子育て支援センターりんご狩り
下山フルーツガーデンで九月五日、瑞穂子育て支援センターと丹波子育て支援センターがりんご狩りを行いました。
両支援センターのりんご狩りは

それぞれ例年行っているのですが、昨年はハチが大量発生したことから中止となり、今回二年ぶりの開催となりました。
この日は、それぞれの支援センターの事業に合計三十組の親子が参加。子どもたちは頭上に乗ったりんごの中から、赤くなったものを選

んで収穫していました。
りんごの収穫後、瑞穂子育て支援センターの事業に参加した親子らは、りんごの木の下で九月生まれの子ども二人の誕生日会を開催。タオルなどで作ったケーキを囲み誕生日を祝いました。



大きく実ったりんごをもぐ幼児(下山フルーツガーデン・下山)

踊 りを通して交流

■丹波音頭・踊りフェスティバル

丹波地域の各地で伝統文化として受け継がれている丹波音頭などを、一堂に会して踊る丹波音頭・踊りフェスティバルが九月二日、和知ふれあいセンターで開催されました。
フェスティバルには、亀岡市、南丹市、京丹波町と福井県おおい町から九団体約三百人が参加。本町からは丹波音頭愛好会と和知文七踊り保存会のメンバーが参加し、日頃練習している丹波音頭や文七踊りを披露しました。

この日踊られた丹波音頭や文七踊りは、江戸時代中期から浄瑠璃くずしの音頭が地域の人々の間で歌われ、そのリズムに合わせて踊られたものが発祥とされており、地域によって少しずつ踊りなどは違っていました。参加者らは音頭



フィナーレを飾った和知文七踊り(わちふれあいセンター・本庄)

とりの声会場に響くと、団体の区別なく踊りに参加していました。
フェスティバルのフィナーレを飾った和知文七踊り保存会の踊りが始まると、参加者の多くが踊りに加わり、幾重にも輪を作って地域の垣根を越えた伝統文化である踊りを楽しみました。

アジアの文化に親しむ

■町女性の会男女共同参画事業

町女性の会が、国際交流を通して男女共同参画を考える「アジア・ユナイテッドフェスティバル」を九月九日、町中央公民館で開催しました。
今回、昨年まで他のイベント内で同会が取り組んできた男女共同参画に関する取り組みを独自の取り組みとして初めて開催。同会の会員のほか、町国際交流協会の関係者など約五十人が参加しました。

オープニングに町内在住のパフォーミンググループ「Soy, Soy, Soy」が風船を使った「バルーンアート」を披露した後、町内に住むフィリピン、タイ、台湾の方などがそれぞれの母国の踊りを披露したり、生活習慣などをクイズ形式で説明したりしました。
クイズでは、日本では結婚すると



タイの生活習慣の話の聞き手(町中央公民館・蒲生)

救命処置の方法を学ぶ

■命を救う応急手当講習会

園部消防署が九月十六日、救命処置の講習を行う応急手当講習会を和知ふれあいセンターで開催し、町内から二十一人が参加しました。

講習会では、園部消防署丹波出張所の松田健志主任などが、胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸AED(自動体外式除細動器)を用いた救命方法を実演した後、参加者らは二人ずつ協力して救命処置を実践していました。

松田主任は「発生後四分で救命率は五〇%になります。いかに早く処置をするかが大事です」と、救急車が到着するまでに救命処置を行うことの重要性を説明し、参加者らは熱心に講習を受けていました。



AEDの使い方の説明を聞く参加者(和知ふれあいセンター・本庄)

医療体制の充実を報告

■医療等審議会

本町の地域医療のあり方などを検討することを目的に設置された町医療等審議会が八月三十日、町中央公民館で開催されました。

今回の審議会では事務局の町医療政策課が、町立医療機関において新たに三人の常勤医師が勤務していることや院外処方せんを導入したことなど、医療機関の改善状況とともに、介護が必要な高齢者

車いすで疾走

■全京都車いす駅伝競走大会
全京都車いすミニ駅伝競走大会

九月二日、丹波自然運動公園陸上競技場を発着点として第二十二回全京都車いす駅伝競走大会が開催されました。

この大会は四区間九・三キロメートルを競い合うもので、本町からも一チームが出場しました。
午前十一時にスタートの号砲が鳴り響くと、第一区を走るランナーが一斉に車いすの両輪をこぎだしました。

沿道からは、力の限りを尽くして力走するランナーに対して大き



声援を受け快走するランナー(丹波自然運動公園・曾根)

な声援が送られていました。
また、競技場内では事前に申告した時間を目標として走る第二十二回全京都車いすミニ駅伝競走大会も開催。参加者らは、それぞれ楽しみながらゴールを目指していました。



事務局からの報告を受け審議する委員ら(町中央公民館・蒲生)

わたしたちの町

人口	16,309(+1)
男	7,707(+7)
女	8,602(-6)
世帯数	6,468(+5)
10月1日現在()は前月比	

義援金などの受付状況

東日本大震災への支援として取り組んでいる「義援金」と、友好町・福島県双葉町への「復興支援募金」の受付状況をお知らせします。

受付金額	
義援金	8,836,434円
復興支援募金	5,173,763円

*平成24年9月30日現在

恒例の体育イベント開催

■町内小中学校体育祭・運動会

スポーツの秋を迎え、町内の小中学校では体育祭や運動会が開催されました。



声援を背にバトンをつなぐリレー
(瑞穂中学校グラウンド・大朴)

町内の中学校は、蒲生野中学校が九月十三日、瑞穂・和知中学校が九月十四日に体育祭を開催しました。

瑞穂中学校では、学年ごとに二つのブロックに分

かれ、リレーや大縄跳びなどの競技に練習してきた成果を発揮し、競い合っていました。

小学校は九月二十二日、今年初めて地域との共催となった竹野小学校を除いた四小学校が運動会を開催しました。

和知小学校では、生徒二人ずつが棒を持って走り途中に置かれたコーンを回って戻ってくる「台風の目」などの競技で競い合ったほか、二学年ずつ行った表現運動では一、二年生がネズミをイメージした耳やしっぽなどをつけ、音楽に合わせて踊っていました。



音楽に合わせたかわいい踊りが会場を和ませる
(和知小学校グラウンド・本庄)

緑あふれる公園で野外活動

■スポーツ少年団交流事業

町内のスポーツ少年団に所属する子どもたちが九月十六日、質志鐘乳洞公園でカレーライス作りなどの野外活動を行いました。

これは、同少年団が団員・指導者・保護者それぞれの交流と、団員の子どもたちが自ら考えて取り組むことにより自主性と協調性を育てることを目的に行っているもので、町内八団から約百人の子どもたちとその保護者などが参加しました。

子どもたちは、七班に分かれて日頃あまり交流のない他団の子どもたちとともに、慣れない手つきで包丁を使ってカレーの具の準備などに取り組んでいました。

出来上がったカレーは、飯ごうを使って炊いたご飯に盛り付け、保護者らと一緒に食べました。

このほか昼食後には、同公園内の鍾乳洞の探検を行うなど、野外活動を楽しんでいました。



保護者らが見守る中、カレーの具材を調理する子どもたち
(質志鐘乳洞公園・質志)

京丹波町のシンボル

【町の鳥】
うぐいす



【町の木】
イチヨウ



【町の花】
つつじ



秋の収穫の時期を迎え、町内では「食」をテーマにしたイベントが各地で開催されています。

編集子も6年前から米づくりを始め、現在4反ほどの田んぼで土日農業に取り組んでいます。今年は週末に取材に出ることが多く、なかなか管理もできなかつたり、油断した際にシカの餌になってしまったりと、反省しきりの収穫でした。

11月18日には「京丹波●食の祭典2012」の開催が予定され、まだまだこれから「食の京丹波」をアピールするイベントがめじろ押しです。

体重が気になるころですが、おいしい新米にパワーをもらい、精力的に町内を駆け回りたいと思います。(T)

編集後記